

# 子どもの命を守る 情報共有・コミュニケーション

巡回訪問つうしん8号  
令和3年2月発行

令和2年度巡回訪問「事故防止に関するアンケート」より

令和2年度巡回訪問 事故防止に関するアンケートでは情報の共有化について、約6割の保育施設より『共有できている』という結果がある反面、約3割の保育施設より共有することに『難しさを感じている』という御意見がありました。

事故防止に向けた環境づくりには、職場内での情報の共有、職員間のコミュニケーションが不可欠です。

アンケートの回答より各園の情報共有としてのツールの使い方や、コミュニケーションを図るための各園の取り組み工夫例も多くなりました。それぞれ園の状況に合わせて、安全安心な環境づくりの参考にさせていただきたいと思えます。

## 状況に応じた各園の共有方法



文面・文字での連絡	口頭での連絡	会議
<ul style="list-style-type: none"> <li>ノート、日誌、または回覧、ホワイトボードなど</li> <li>急に全員周知が必要となった時、タブレットやアプリなど使用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>確認も含め、施設内を主任が回り直接伝えていく</li> <li>ミーティングをはじめとして、引き継ぎ等口頭で伝える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員会議</li> <li>クラス会議</li> <li>乳児・幼児会議</li> <li>リーダー会議</li> <li>給食会議</li> </ul>

## 伝える側の配慮点

自分では情報共有したと思っていても、相手に伝わっていないことはありませんか？ 伝える人は内容を熟知していますが、受け取る人は内容を全く知りません。伝える情報を発信する人は、相手は現場を見ていない(その場にいなかった)という意識をもって相手に伝えましょう...  
また書いた文章は、『第三者の目』で読み返すことが大切です。

## 情報共有がうまく図れると

- 園内外の危険な環境箇所を共有し 事故を防げる。  
⇒ 安全・安心な環境づくりにつながる。
- 保護者からの質問に同じように答えられる。  
⇒ 保護者の信頼につながる。
- 子どものいろいろな姿に気づく。  
⇒ 一人ひとりの子どもの理解につながる。
- 職員全員が子ども一人ひとりの行動を理解し安全に遊べるように見守ることができる。  
⇒ 子どもの豊かな遊びの保障につながる。

## 例えば

～こうやって保育に役立ってます～

### ① 子どもの体調についての情報共有

園児 A さんの今日の体調  
・寝不足  
・朝ご飯を食べていない  
・機嫌が悪く落ち着かない

日々のミーティング  
引継ぎノート等

・その日の活動中での観察や配慮につながり、すぐに異変に気づくことができます。

### ② 散歩先の安全についての情報共有

・公園の樹の周りに蜂が多い  
・工事中でいつもの道が通れない  
・近隣で不審者を見かけた

随時  
口頭での伝達等

・タイムリーな情報を共有することで散歩時のリスクが抑えられます  
・保護者、近隣に向けて働きかけることで情報の幅が広がります。

### ③ 子どもの成長についての情報共有

・0歳児がつかまり立ちができるがまだ不安定  
・乳児の動きが活発になり、固定玩具にのぼろつとする等、行動範囲が広がる  
・小さい子への興味が広がり、関りが上手になる

会議等

・子どもの成長について職員同士情報を共有することで共通認識が持てます。  
・子どもの行動の予測が互いにできて、安全な見守りの下に豊かな遊びの保障ができます。  
・個々に合った働きかけができ、楽しく安全な遊びにつながります。



## アンケートにはこんな工夫事例がありました

- ★ミーティング内容は必ず議事録に残し、職員全員が閲覧したか確認できるように捺印(サイン)する。
- ★職員間連絡ノートへの記載には、内容によりマーカーの色を変え、重要なことは目に付くようにする。
- ★誰が誰に情報を伝えるのかを明確にし、確実に伝わっているかをチェックする。
- ★急を要するものは、屋礼や通信アプリ、全員周知は伝達ノートや回覧、討議が必要なものは職員会議やクラス会議で共有する。
- ★何事も声を掛け話し合い、職員全員が子どもの状態、変化を把握できるようにしている。
- ★研修で学んだことは、必ず伝え合い、意見交換している。
- ★毎日のミーティング、資料の回覧、クラスの引き継ぎノート、三重の情報対策を取っている。

## 各園では コミュニケーションを図るために

こんな工夫配慮をしています (アンケートから抜粋)

- 話し合える場所、時間の確保
  - ・休憩時間の確保のために主任、フリーがフォローの体制、シフトを考慮しています。
  - ・休憩場所が落ちつける雰囲気になるよう配慮しています。
  - ・子どもの成長を喜び合える楽しいエピソードを話しています。

- 意見の送受信を大切にする
  - ・小さな会議等意見を言える場を多く設定し、皆が発信し合える雰囲気を作ります。
  - ・発言が一方向的にならないよう配慮しています。

- 多くの情報共有の方法を使い情報を丁寧に伝える
  - ・職員全員が同じ情報を知ることが大切になっています。

いつも相手の話を傾聴し、労い、感謝を伝え、丁寧な言葉遣い相手の人権を尊重することを大事にしています。

なんでも話し合える関係を大切にしながら、個人的プライバシーに関することは控え目にするなど、適切な距離感を保つことを心がけているわ。



事故を防止するためには職員の連携がとて大切です。職員同士声を掛け合うことで事故にならなかった事例が多くあります。

それぞれの園にあった方法で情報共有を図り、更にコミュニケーションの取りあえる職場にしましょう。

職場の中で 子どもの楽しい話をたくさん しましょうね!!